

2020年2月27日
イオン九州株式会社

「DBJ 環境格付」7年連続 「DBJ 健康経営(ヘルスマネジメント)格付」3年連続 最高ランクの格付を同時取得！

イオン九州株式会社（代表取締役社長：柴田 祐司、以下 当社）は、株式会社日本政策投資銀行（以下 DBJ）の「DBJ 環境格付」においては7年連続で、「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」では3年連続で最高ランクの格付を取得いたしました。

「DBJ環境格付」および「DBJ健康経営格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度や従業員への健康配慮の取り組みを評点化。優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、イオングループの一員として地域に根ざした事業展開を行っている九州地区の代表的な総合小売事業者として、環境配慮型商品の販売や廃棄物の削減などの環境への取り組みを行うとともに、当社経営を支える人材への配慮として、働きやすい職場環境づくりに主眼を置いた健康経営に取り組んでいます。

今回の格付では、以下の点が高く評価されました。

【DBJ 環境格付】

1. アミノ酸生産工程から発生する発酵副生バイオマスを有効活用することでCO2排出量削減に寄与する「九州力作野菜・果物」を開発し、環境配慮と九州地域の農業活性化に貢献している点
2. 設備ごとのエネルギー使用量の把握・分析や店舗実査を踏まえ、設備更新や改善指導などハード・ソフト両面から店舗における環境負荷削減に取り組んでいる点
3. 地域・社会の課題や事業環境変化を踏まえ、持続的な成長を目指す上で求められる人材像を明確化し、経営戦略で掲げる業態変容にも貢献しうる多様な能力・個性を持った人材の開発に向けた取り組みを展開している点

【DBJ 健康経営格付】

1. 全社中期計画の達成を支える組織・風土づくりとして健康経営施策を位置づけ、管理本部長を健康経営推進責任者（CHO）、各事業所に健康推進担当者を配備した全社的な推進体制のもと、健康経営を自社の成長戦略の一要素として捉えて取り組んでいる点

2. 事業環境変化や社会からの要請およびモラルサーベイを通じた従業員の意見などを踏まえて、今後の業態変容に貢献しうる多様な能力・個性をもった人材が活躍できる環境整備に向けて、中長期視点から各種施策・新制度を導入している点
3. 健康経営宣言「従業員と家族の健康をサポートします。そして従業員とともに地域社会の健康とハピネスを実現します」の実現に向けて、オーガニック商品の拡大や福岡市と連携した店舗での健康イベントの開催など、本業を通じて地域の健康増進にも貢献している点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」、「従業員への健康配慮への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付けを同時に取得いたしました。

当社はこれからも、持続可能な社会の実現と、従業員とその家族および地域社会の健康とハピネスを実現する経営を推進いたします。



当社は、2020年2月、日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。



当社は、2020年2月、日本政策投資銀行（DBJ）より健康格付融資を受け、格付結果は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。